

# All About

その道のプロが、  
あなたをガイド。



ハロウィーン4 カボチャのお化けの由来 なぜカボチャのお化けなの？

[ハロウィーン](#)

「[子供のための英語](#)」 ガイド：[清水 万里子](#)

掲載日：2001年10月19日



## カボチャのお化けの話

Jack O' Lantern's story

ハロウィーンのシンボルとして有名な「カボチャのお化け」(ジャック オウ ランタン)のお話を知っていますか？なぜハロウィーンにカボチャのお化けをシンボルとしているのか物語式にお話ししましょう。



ヨーロッパにアイルランドという小さな島国があります。その昔その国にジャックという名前の男がいました。ジャックはお酒が好きでいつも飲んだくれていました。そしてジャックはケチで乱暴者で人をだましてばかりいました。あるハロウィーンの夜のことでした。ジャックはいつものように酒場で飲んで酔っ払っていると、地獄からやってきた悪魔に出会いました。ハロウィーンの夜はこの世とあの世の境がなくなり、その時だけ時間がとまってしまいます。この時を狙って多くのお化けたちが人間に取り付こうとやってくるのです。

悪魔は「お前の魂をとってやる。」と言ってジャックの魂をいただこうとしました。ジャックは魂をとられたくありません。ジャックは悪魔にこういいました。「わかった。わしの魂をあげよう。でもその前に酒を一杯ご馳走してくれ。」一杯くらいいいかと悪魔は思って、その一

杯のお酒を買うお金に変身しました。すると、ジャックはお金に変身した悪魔をすばやく自分の財布の中に入れました。悪魔は財布から出たいのですが、ジャックが財布の口を固く閉じていて出られません。「出せ！出してくれ！」と悪魔は言いました。ジャックは「出して欲しければ取引をしよう。」と言いました。「何でも聞くから出してくれ！」ジャックは悪魔にこれから10年間はジャックから魂をとらないと約束させて、悪魔を財布から出してあげました。



そして10年の月日が経ちました。ジャックがハロウィーンの夜に道を歩いていると、またあの悪魔と出会いました。「へっへっへ・・・今度こそお前の魂をもらうぞ。」悪魔はジャックに言いました。ジャックは今度も魂をとられたくありません。ジャックは悪魔にこう言いました。「わかった。わしの魂をあげよう。でもその前にあの木になっているリンゴを一つとってくれないか？」悪魔はリンゴくらいとってやってもいいかと思って木に登りました。すると、ジャックはすばやく木の幹に十字架を刻みました。悪魔は十字架が怖くて下に降りることができません。「降りしてくれ！頼むから降りしてくれ。」ジャックは「降りして欲しければ取引をしよう。」と言いました。ジャックは悪魔に自分の魂を絶対にとらないことを約束させて悪魔を木から降りしてあげました。

>> 次のページへ >>

「[子供のための英語](#)」ガイド：[清水 万里子](#)

専門は児童英語教育・カリキュラム開発。現在は児童英語教師、養成講師（小学校・保育園・大学）、子ども英語教育コンサルタントとして活動。ALC「子ども英語カタログ2006」英語教室の選び方など多数記事を執筆。



[記事一覧](#)

この記事の内容は2001年10月19日現在のものです。